

■吉野作造 政治学者、思想家。“民本主義”を唱え、〈大正デモクラシー〉を先導も、弾圧で明治文化研究へ。

よしのさくぞう

大久保暗殺・1878＝ 宮城県古川の綿製造問屋の長男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 3歳：

秩父事件・・・1884＝ 6歳：古川尋常小学校に入学，優秀な成績で勉学する。

国民之友始・1887＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝11歳：

大本教・・・1892＝14歳：\_宮城県尋常中学校(仙台一高)に入学，特待生となる。

日清戦争始・1894＝16歳：

白馬会・・・1896＝18歳：

八幡製鉄始・1897＝19歳：\_首席で中学校を卒業，第二高等学校法科に無試験で入学。ミス・プゼルのバイブル・クラスに出席したり，押川方義・海老名弾正らの説教を聞く。

子規句歌革新1898＝20歳：\_ミス・プゼルの影響をうけ，仙台浸礼教会で洗礼を受ける。

Bushidou・・・1899＝21歳：結婚。

ビア/国産化・1900＝22歳：\_二高を首席で卒業し，東京大学法科に進む。本郷教会に参加，牧師海老名弾正の影響を受ける。

日露戦争始・1904＝26歳：\_政治学科を首席で卒業し，大学院に進む。東京帝国大学工科大学講師を嘱託される。

日露戦争終・1905＝27歳：\*「ヘーゲルの法律哲学の基礎」が有斐閣より{法理論叢}の1冊として出版される。

満鉄発足・・・1906＝28歳：\_袁世凱家の家庭教師として渡清。

伊藤博文暗殺1909＝31歳：\_中国より帰国し，東京帝国大学法科大学助教授に任ぜられ，政治史を担当。

韓国併合・・・1910＝32歳：政治史・政治学研究のためヨーロッパに学ぶ。

明治天皇没・1912＝34歳：

大正政変・・・1913＝35歳：帰国。以来，\_鈴木文治の相談役として友愛会など労働運動にも関係。

第一次大戦始1914＝36歳：\_教授に昇任し政治史を担当。この年から{中央公論}に毎号のように政論を執筆。

民本主義・・・1916＝38歳：\*「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」はデモクラシーに“民本主義”の訳語を与え，政治の目的は民衆の利福にあり，政策決定は民衆の意向によるべきであるとの2点をその内容とし，当面の政治目標として普通選挙と言論の自由に支えられた政党政治の実現を要求した。主権の所在を問わないのは不徹底だとの批判が社会主義者から出たが，国体無視のとがめを受けず，議会中心主義を主張できる理論的武器として，〈大正デモクラシー運動〉に大いに貢献するた。

本格政党内閣1918＝40歳：\*福田徳三らとともに学者集団{黎明会}を結成し，華々しい啓蒙活動を展開し，内政の民主化とともに，朝鮮，中国の反日民族主義運動に対する理解をよびかけた。

原敬首相暗殺1921＝43歳：

関東大震災・1923＝45歳：関東大震災で研究室の蔵書を焼失する。

護憲三派圧勝1924＝46歳：\*朝日新聞社論説顧問に迎えられたが，検察の圧力のため退社。東大講師に復帰し，明治文化研究会をおこし「明治文化全集」の刊行に尽力した。

治安維持法・1925＝47歳：以降，\_持病の結核に苦しめられながら，

日本時代始・1926＝48歳：\_社会民衆党の産婆役を務め，

金融恐慌・・・1927＝49歳：東京帝国大学総長吉在由直の学生問題の顧問として遇される。\_「明治文化全集」刊行開始。

共産党事件・1928＝50歳：嶋中雄作が中央公論社社長に就任し，\_ {中央公論}の顧問格となる。

世界恐慌・・・1929＝51歳：\_「明治文化全集」(24巻)完結。

その後，\_結核が重くなり，

満州事変・・・1931＝53歳：

五一五事件・1932＝54歳：

国際連盟脱退1933＝55歳：逗子の湘南サナトリウムで\_没した。